

# 緑化だより

No.29 平成20年7月号



ムクゲ：平成19年7月28日撮影

○きのこのない食卓なんて  
○樹のあれこれ  
○研修会・イベント報告

○研修会・イベント紹介  
○花だより  
○お知らせ・案内

**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**  
**〒732-0036 広島市東区福田町166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)



## きのこのない食卓なんて

### 『第4話 制ガン作用について(1)』

きのこの中には動物実験で制ガン作用が認められている種類がいくつかありますのでそれらを紹介していきたいと思います。

**ハナビラタケ**は最近注目されている種類の一つです。きのこはハボタン状で大型、ときに30cmを超えるものもあります。きのこらしい形ではありません。色は白っぽく、鮮やかさはありません。昨年緑化センターの「きのこ教室」でも見つかっていますが、野生の**ハナビラタケ**を見つけるのはたやすくはありません。

**ハナビラタケ**には**制ガン作用**があるといわれている **$\beta$ -グルカン**の含有量がとりわけ多いようです。最近人工栽培されるようになり商品化されているようです。

**ハナビラタケ**は夏～秋に針葉樹の根元や切り株に発生します。北アメリカでは樹を枯らす害菌として扱われていますが、日本ではこれまで問題にされたことはありません。



ハナビラタケ

## 樹のあれこれ 『ネムノキ』 マメ科ネムノキ属

園内ではレストハウス裏側や第2駐車場を上った所の橋を渡ってすぐの右側斜面に大きな木があります。夏に目に付くピンク色の花は、雄しべで、日暮れ時になると名のとおりゆっくり葉をとじ、眠り始めます。

秋になると莢(さや)ができ10個から15個の種子ができます。気をつけて見ると葉柄基部と葉軸先端の上面に1個の腺体があります。ネムノキは広くコウカと言われており牛馬が好んで食べます。

松尾芭蕉の奥の細道『象潟や雨に西施がねぶの花』と句にある秋田県象潟町では「町の花」になっています。広島市内では平和大通りの西区役所前北側に大きな木があり、花の咲く時期には電車からもよく見えます。



ネムノキの花:H19.7.5撮影



ネムノキの花:H19.7.5 撮影

# 研修会・イベント報告

6月8日(日) 『庭木の手入れ』

開催当日、関東が先に入梅となり中四国地方は梅雨入りせずという状況でしたが、この時期は、サツキ類の刈込み、松のみどり摘み等庭木の手入れには『いつ』『どんな方法』が一番良いだろうかと悩む人が多いのではないかと思います。



研修会実施状況

そんな悩みを解消しようと、造園業でもあり、樹木医の工藤先生をお招きし『庭木の手入れ』の講習会を実施しました。

前半は室内で剪定の目的、時期、花芽分化期、松のみどり摘み等の講義を行いながら、参加された方からの質問に答えるという形式でした。後半は屋外で実技指導を行いました。剪定時期を間違えて次の年に花が咲かなかったり、松の葉が不揃いになったりすることがあったかと思いますが、実践に基づく指導で皆さんの悩みもすっきりと解消されたのではないかと思います。10月25日(土)には『もみあげと庭木の手入れ』と庭木に関する研修会を行いますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

# 研修会・イベント紹介

○7月3日(木) 『初夏の写真教室』 10:00～12:00 学習室

講師:写真家 大藤 哲己 先生

デジタル1眼レフカメラの取り扱いの説明を中心に行う研修会です。質問を受付けながら行いますので、日頃疑問に思っていることなど確認されては如何でしょうか。

○7月11日(金) 『7月の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前集合

講師:植物研究家 中塚 道則 先生

毎月、第2金曜日に実施している植物観察会です。今回はハナノキの道を歩き、タムシバやタカノツメなどの植物を観察する予定です。

○7月13日(日) 『夏のきのこ教室』 10:00～14:00 第3駐車場集合

講師:きのこアドバイザー 川上 嘉章 先生 きのこ採取用のカゴ持参

園内できのこ狩りを行った後、学習室に持ち寄り、きのこ鑑定を行います。たくさんのきのこが発生する時期です。

○7月26日(土) 『夏休み親子自然教室』 10:00～12:00 学習室集合 要予約

講師:日鳥連会員 吉見 良一 先生 虫かご・虫取り網持参

昆虫などの生き物について学習した後、外に出て探して歩きます。もしかしたらクワガタムシに出会えるかも。

○7月27日(日) 『樹木治療あれこれ』 10:00～12:00 学習室集合

講師:樹木医 堀口 力 先生

樹木の治療や保護などこれまで実施されてきた話を中心に樹木治療について学習します。広島には被爆樹木も多くみられ、これまで様々な治療が行われてきています。

# 花だより

クチナシ アカネ科クチナシ属

学名:Gardenia jasminoides forma grandiflora

夏至を迎える頃、早朝の公園を歩くと爽やかな空気の中に、良い香りを感じることがあります。クチナシの花の香りです。もともとは、林縁等の野山に自生していたのですが、園芸用として栽培や品種改良などされ、公園や庭木などにたくさん植栽されています。香りでは早春のジンチョウゲ、秋のキンモクセイとともに芳香花木の代表といえます。

開花当初は白色ですが徐々に黄色くなります。花弁は6枚ですが、八重咲き品種のヤエクチナシ、花や葉が小型のコクチナシなどもよく植栽されています。

果実は独特な形をしており、先端に萼片が残っています。碁盤や将棋盤の脚はクチナシの果実をかたどったものです。古くから黄色の着色料としてサツマイモや栗、和菓子、たくあんなどの着色に利用されています。また、果実は山梔子(サンシシ)と呼ばれ、消炎、止血、解熱、利胆、鎮静、降圧などの漢方薬に利用されています。

オオスカシバの幼虫に葉を食べられることがあるので注意が必要です。挿し木で殖やすことができます。



クチナシ(一重)



クチナシ(八重)



クチナシの果実

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス

○愛鳥週間原画コンクール優秀作品展

7月4日(金)~7月24日(木)迄:愛鳥週間原画コンクールで入賞した作品を展示します。子供たちが描いた野鳥をゆっくりご覧下さい。

○夏のバードカービング

7月21日(月)迄:木彫りで作られた夏鳥を展示中。

○季節のきのこ展 園内で採集した本物のきのこを展示しています(常設展示)

◎ 緑の学校

今年度も引き続き、自然や環境、植物、動物等に関する総合学習のお手伝いを行っています。県内の希望される小学校を対象に講師派遣の要望を受け、6月から実施しています。

◎ 清掃ボランティアのメンバーを受付けています

毎月、第2水曜日に清掃作業を中心に園内で活動を行っています。活動時間は10時から12時の2時間です。爽やかな空気の中、一緒に汗を流してみませんか。